

**令和4年度野田市立児童センターほか6施設
指定管理者管理運営状況調書**

担当課 児童家庭課

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課評価	特記事項
利用者の平等利用が確保されること	①平等利用確保への取組	B	B	
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	①サービス向上のための取組状況	B	B	
	②自主事業の取組	B	B	
市が求める運営に合致すること	①多様な子供たちが交流を通して自主性を育み、公平に楽しみ、共に成長できるための取組	B	B	
	②子供たちが安心して安全に過ごせる居心地の良い居場所づくりのための取組	B	B	
	③保護者に寄り添う子育て支援のための取組	B	B	
	④児童センターを中核としたネットワーク構築のための取組	B	B	
	⑤中高生向けの事業や新しい設備を有効に活用した事業の取組	B	B	
	⑥人間力の高い大人に育つための支援に向けた取組	B	B	
	⑦多様な市民等による児童の体験活動を支援するための取組	B	B	
	⑧中高生ボランティアを活用した異年齢交流の促進のための取組	B	B	
個人情報の適切な保護が図られていること	①個人情報保護のための取組	B	B	

緊急時の危機管理体制が確立されていること	①緊急時の危機管理への取組	B	B	
	②要望及び苦情への取組	B	B	
現金の取扱い等の経理処理が適切に行われていること	①現金の取扱い	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①経費縮減のための取組	B	B	
	②効果的かつ効率的な運営のための取組	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際して、地元業者へ配慮すること	① 地元住民の雇用及び地元業者への配慮	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	①人員配置について	B	B	
	②職員の指揮監督・管理体制について	B	B	
	③人材育成の取組状況	B	B	
<p>総合所見</p> <p>【のだしこども館 supported by kikkoman について】</p> <p>新型コロナウイルス感染予防のため、8月から10月にオープンが延期となったが、その期間を好機と捉え、施設の安全対策の徹底や混雑を想定したシミュレーションの実施、既存子ども館での職員研修などを十分に実施したことで、オープン当初の混雑にも大きな事故なく対応できていた。</p> <p>また、運営については、親子向けサークルや小学生クラブ、季節行事などの実施に加えて、市内団体との連携やマスコミ対応などについても、事前に市と協議を重ねながら前向きに取り組んでおり、これまで大きな問題点も見られないことから、おおむね良好に運営されていると評価できる。</p> <p>なお、1月11日に担当課による施設点検を行った結果、危険箇所はなかった。</p> <p>【既存子ども館について】</p> <p>令和4年度については、年度途中の指定管理開始ということもあり、市が実施していた事業を基本的には継続して実施している。以前から勤務している職員を現在の指定管理者が継続して採用したため、利用者の混乱も特になく、これまで大きな問題点も見られないことから、おおむね良好に運営されていると評価できる。</p> <p>なお、10月27日から11月1日にかけて、担当課による施設点検を行った結果、危険箇所はないものの、一部施設で老朽化が目立つことから、機能維持のための修繕等を計画的に実施していく。</p>				